

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年8月6日発行

2026.7.27 ~ 2026.8.2 ー第31週ー

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病		保 健 所					仙台市	宮 城 県(含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器 感染症定点	急性呼吸器感染症 *1	367 73.40	392 39.20	340 68.00	310 62.00	126 31.50	1,473 56.65	3,008 54.69	116,902
	インフルエンザ *2		8 0.80	1 0.20	1 0.20	2 0.50	9 0.35	21 0.38	17,190
	新型コロナウイルス感染症 *2		3 0.30	2 0.40	4 0.80	1 0.25	11 0.42	21 0.38	3,181
小児科定点	RSウイルス感染症 *2		4 0.67		2 0.67	1 0.50	5 0.33	12 0.39	350
	咽頭結膜熱 *2		5 0.83	1 0.33			2 0.13	8 0.26	244
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *2	2 1.00	5 0.83	2 0.67	1 0.33	4 2.00	26 1.73	40 1.29	2,053
	感染性胃腸炎	8 4.00	7 1.17	2 0.67	3 1.00	21 10.50	27 1.80	68 2.19	4,187
	水痘		2 0.33		1 0.33		6 0.40	9 0.29	373
	手足口病	36 18.00	42 7.00	27 9.00	13 4.33	4 2.00	179 11.93	301 9.71	1,076
	伝染性紅斑							0	84
	突発性発しん		1 0.17				4 0.27	5 0.16	243
	ヘルパンギーナ *2	9 4.50	3 0.50	23 7.67	2 0.67	1 0.50	44 2.93	82 2.65	256
	流行性耳下腺炎					1 0.50	1 0.07	2 0.06	22
眼科定点	急性出血性結膜炎							0	2
	流行性角結膜炎			7 7.00			2 0.33	9 0.75	186
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
	クラミア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	6
	マイコプラズマ肺炎	1 1.00		1 1.00			2 0.40	4 0.40	69
	無菌性髄膜炎							0	3
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	12	1	2			1		
	川崎病								
	不明発疹症						2		

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 0例(前週比較: 0例)

新型コロナウイルス感染症: 0例(前週比較: -1例)

* 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

塩釜管内 第30週採取分

O152 1件

気仙沼管内 第30週採取分

O115 1件

手足口病患者より

気仙沼管内 第30週採取分

コクサッキーウイルスA6型 1件

急性呼吸器感染症患者より

第31週採取分(6検体)

エンテロウイルス属 1件、パラインフルエンザウイルス1型 1件、

パラインフルエンザウイルス3型 1件、陰性 3件

※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。

<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【手足口病】

県内の定点当たりの患者報告数は、前週の8.29人から9.71人へと第25週以降、増加が続いています。保健環境センターに搬入された手足口病患者検体からはコクサッキーウイルスA6型(CA6)が検出されました。CA6による手足口病では、上腕や大腿、臀部の発疹の出現や発疹消失後に爪脱落が起こる症例が報告されています。

感染者の咳、くしゃみなどの飛沫や便中のウイルスにより感染します。感染予防には、咳エチケットや日常的な手洗い、おむつ処理後は石鹸で十分に手洗いを、タオルの共用は避けるなどの対策が重要です。感染対策の徹底に努めましょう。

【ヘルパンギーナ】

県内の定点当たりの患者報告数は、前週の1.84人から2.65人へと第26週以降、増加が続いています。ヘルパンギーナは、発熱とともにのどに痛みと水疱が現れる夏風邪の一種で、乳幼児を中心に夏に流行します。

原因は手足口病と同じ種類のウイルスですので、同様な感染対策が効果的です。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-3644

